

## 編集後記

昨年この欄に編集後記を書いて早くも1年が過ぎ、今年もまた『探求』発行の季節がめぐってきました。今年は、印刷所を変更し、これまでより見やすい誌面を目指したつもりですが、皆さんのお手許にある『探求』にその成果があらわれていれば幸いです。

今年度は、昨夏のテーマレクチャー「日本語と言語哲学」から、飯田先生に御寄稿いただきました。また、今年度は8人もの個人研究発表者の方々から御寄稿いただき、多彩な内容の論文が揃いました。いずれ劣らぬ力作で、充実した誌面となったのではないかと思います。さらに、来年のレクチャーをお引き受けいただいた先生方の講演要旨も掲載しております。こちらもぜひ御覧下さい。

お忙しい中御寄稿いただきました執筆者の皆様、および編集作業を御支援いただいた皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。どうもありがとうございます。

(涉外 竹内 聖一)

世話人二年目では『探求』の編集作業をさせていただきました。お忙しい中、寄稿をご快諾していただいた先生方、研究発表者の方々に、感謝しています。期限の迫った中での慣れない作業でもあり、執筆者の方々のご要望に完全に対応できたとは言いきれません。この場を借りてその旨お詫びさせていただきます。

また、本冊子をご覧になった皆さまも、何かお気づきになった点やご要望などがありましたら、世話人までお知らせいただければ幸いです。

(『探求』編集 壁谷 彰慶)

### 【お知らせ】

昨年度のレクチャーをつとめていただきました尾上圭介先生および土屋俊先生には、ご多忙のため今回は御寄稿いただくことが出来ませんでした。残念ですが御了承くださいますようお願いいたします。

土屋先生のご発表につきましては、レクチャーで使用されたスライドが下記のURLよりダウンロード可能となっております。(2004/4/14 現在)

<http://cogsci.l.chiba-u.ac.jp/~tutiya/Talks/071903wakate.pdf>

上記アドレスがリンク切れとなっている場合には、土屋先生のホームページより、"Talks"、"2003年に行った講演"の順にリンクをたどることができます。